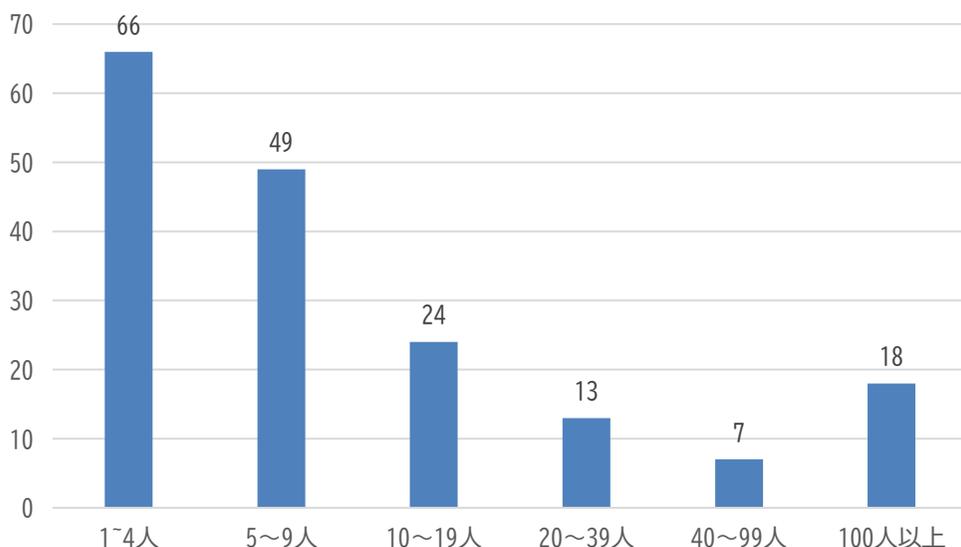


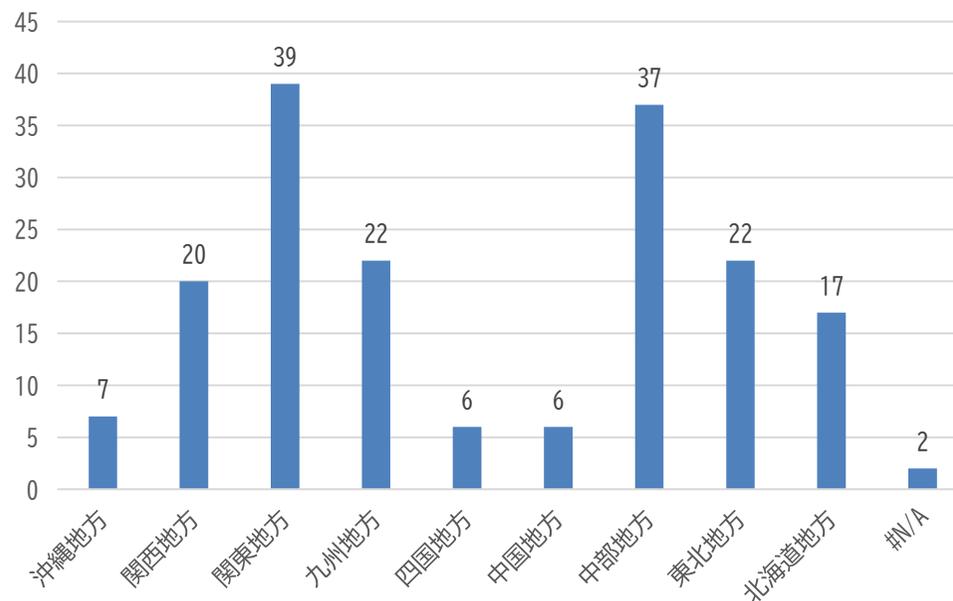
## ■回答企業の属性情報（回答企業数計178社）

- 全178社から回答を受領。建築士の所属数は、1名から100名以上の事務所まで、全国的に幅広い企業から回答をいただいた。

### 所属建築士数別の回答企業数（社）



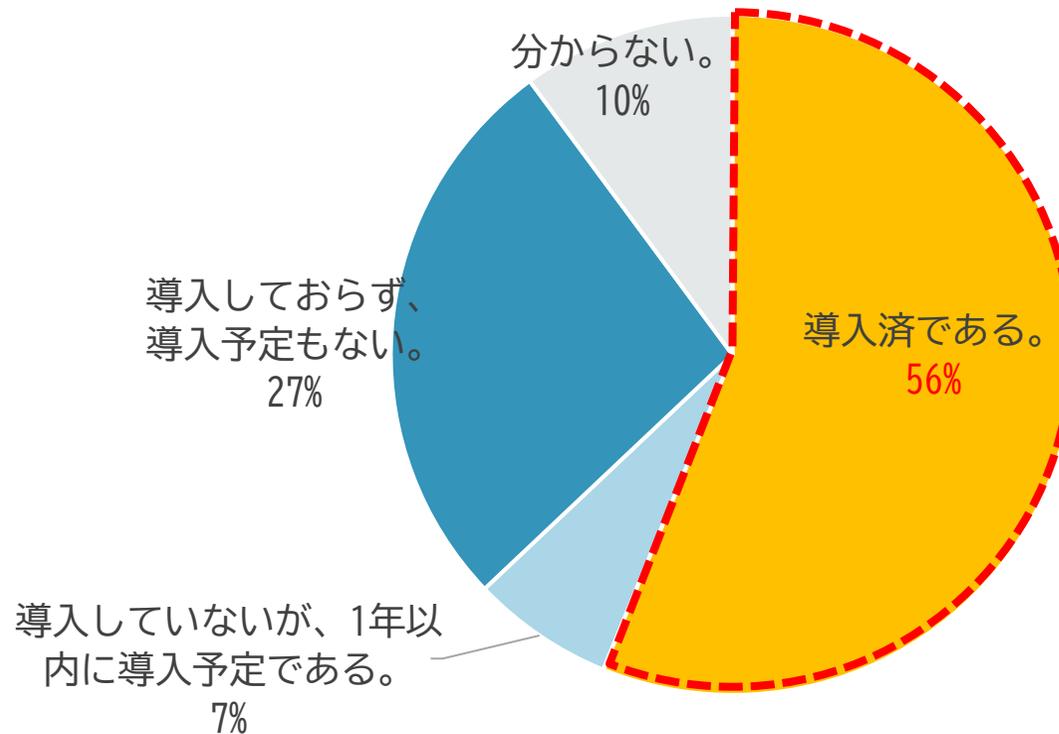
### 地域別の回答企業数（社）



## ■BIM導入企業割合

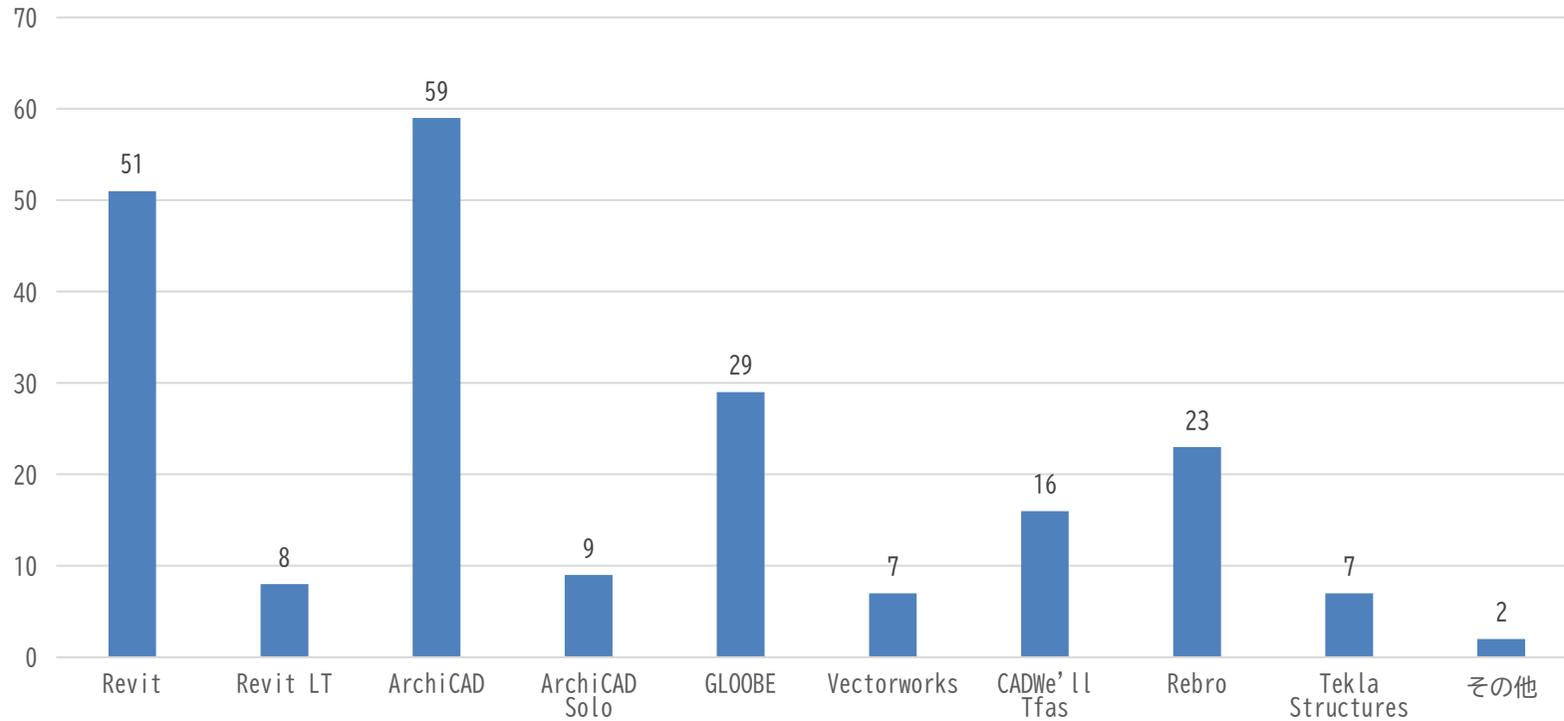
- 回答企業の半数以上がBIMソフトウェアを導入している。
- 導入予定の企業も入れると6割以上の企業でBIMソフトウェアが導入されている。

### BIM導入企業割合



## ■導入BIMソフトウェアの種類

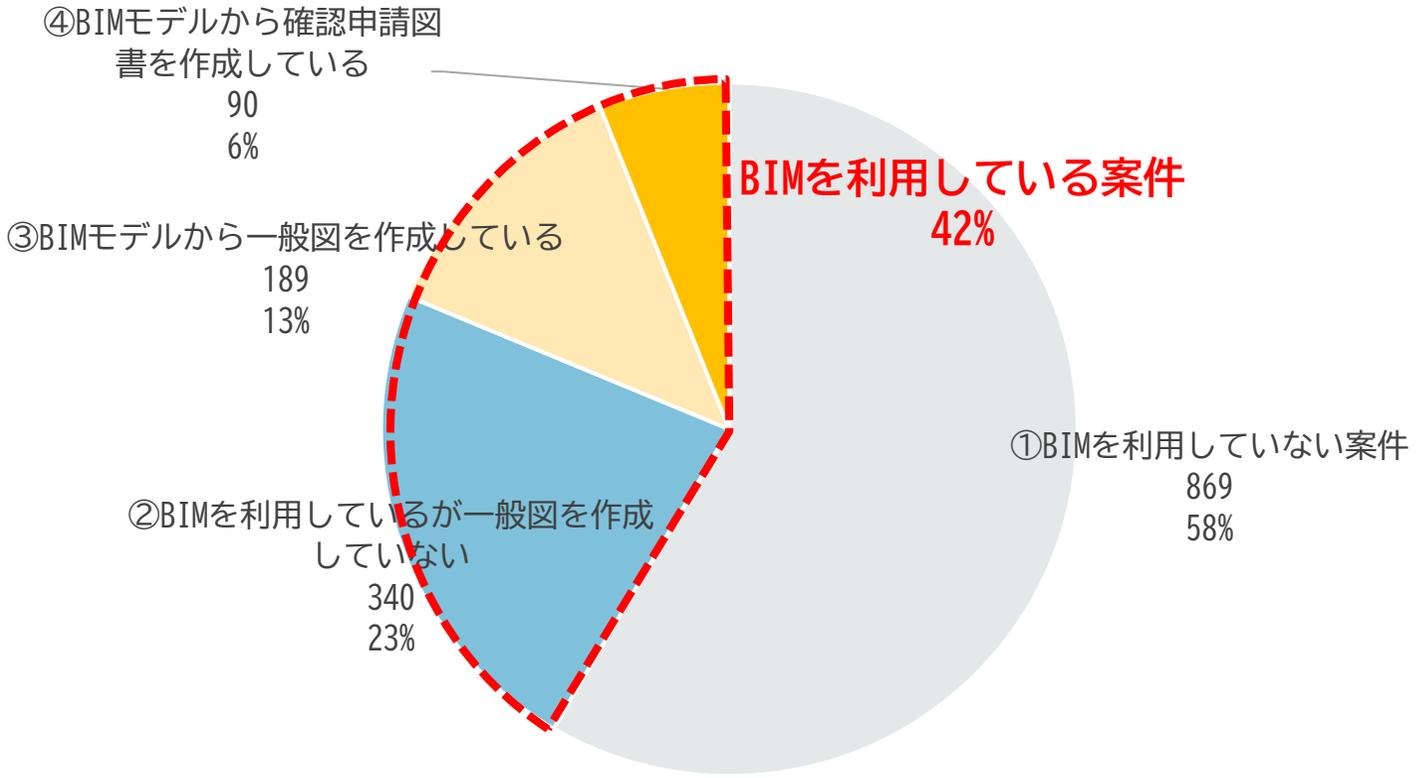
- Revit、Archicadが多いものの、導入ソフトは多岐にわたっている。



■ BIM利用案件割合

- 回答企業の企業が令和5年度に確認申請を行ったすべての案件(1,487件)のBIMの利用範囲を調査した。約4割の案件は何らかの領域でBIMを利用している。その中の半数(全体の約2割)は一般図の作成等BIMを広範囲で利用しており、BIM図面審査もすぐ適応できる案件である可能性が高い。

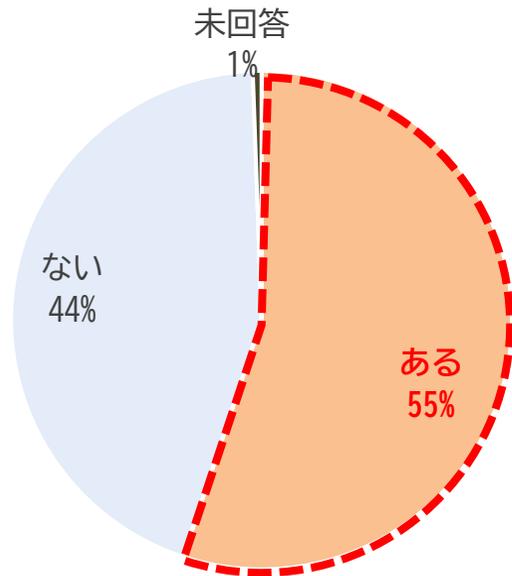
令和5年度のBIM利用案件割合



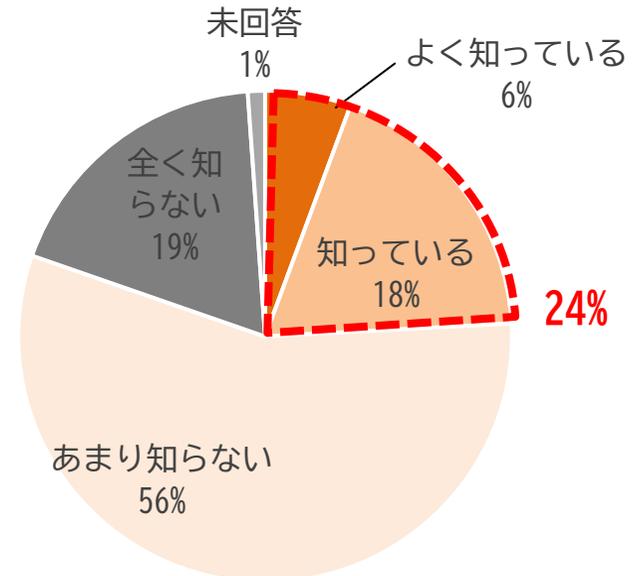
■ BIM図面審査の認知度

- 令和6年8月～9月段階では半数以上がBIM図面審査の名称を見聞きしたことがあるものの、制度内容に対する認知度は低い。

BIM図面審査の名称を聞いたことがあるか



BIM図面審査制度内容の認知度



■ BIM図面審査に期待すること

- BIM図面審査のメリットの一つである作業負荷の削減と、新しい制度に対してのわかりやすさや適切な整備が特に求められている。

BIM図面審査を使いたいと思う条件(計178社 | 重複回答可)

